

業務部速報



No. 106

発行 25. 4. 8

JR東労組 業務部

「在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて」

申18号

に関する申し入れ 団体交渉(4/2)を開催! No.2

4. 本施策において、輸送障害時の足ロスが一部発生することから安全を最優先に現場と指令間の連携を強化すること。
【会社回答】当社は安全を経営のトッププライオリティと位置付けており、引き続き現場・指令間で必要な連携を図っていく考えである。

<p>【組合】</p> <p>○<u>地方を中心に片道3時間の足ロスが発生する職場も出てくる。</u>設備21見直しでは、早期復旧の観点から足ロスを解消するため派出所を設置してきた経緯がある。本施策では足ロスが拡大する懸念があるが、そのような職場においても<u>早期復旧を前提とせず、安全を最優先とし、指令との連携強化をはかれる体制とすること。</u></p>	<p>【会社】</p> <p>□安全が最優先の考え方に変わりはない。<u>異常時において、足ロスが増加することは想定しているが、極端に復旧時間が変わるものではないと考えている。</u>また、<u>指令との認識は一致している。</u></p>
--	--

《主な確認事項》

- ・足ロスが発生する箇所では、早期復旧を前提とせず安全を最優先にして、現場と指令間の連携をさらに強化する。
- ・足ロス解消に向けて、継続して拠点の配備箇所の見直しなど検討していく。

5. 各保線センター、BASE、エリアセンターに、必要な備品・保護用具を準備・整備すること。
【会社回答】必要な備品等は整備する考えである。

<p>【組合】</p> <p>○勤務地が変更になった際、<u>即応体制を整えるために、制服や保護用具を各拠点に整備すること。</u></p> <p>○BASE やエリアセンターの備品や保護具の管理は適切に行うこと。</p> <p>○勤務地の変更が今までより発生することが想定されるため、制服を増貸与すること。</p>	<p>【会社】</p> <p>□全箇所に全社員の備品を整備することは困難であるが、<u>必要な備品等の整備は行っていく。</u></p> <p>□各拠点の備品の整備等は、各保線センターが棚卸も実施する。</p> <p>□現状においては考えていない。</p>
--	--

《主な確認事項》

- ・各保線センター・BASE・エリアセンターに、他の保線センター所属の組合員・社員が業務するために、必要な備品等を準備・整備すること。

6. 一本部・支社において、一現業機関となり、広大なエリアになることから、本人の生活設計や業務などに支障が出ないようにするために、組合員の主な勤務地を明確にすること。また勤務指定については、勤務地が明確に分かるように指定すること。
【会社回答】就業規則に則り取り扱うこととなる。

<p>【組合】</p> <p>○<u>組合員の主な勤務地や担当する業務を明確にすべきだ。</u></p>	<p>【会社】</p> <p>□<u>勤務箇所と担当する業務内容は明確に示していく。</u></p>
<p>《主な確認事項》</p> <ul style="list-style-type: none">・主な勤務地と担当する業務内容を明確にすること。・本人希望の把握のために面談等を丁寧に行うこと。・主な勤務地以外に行くときにはコミュニケーションをとっていくこと。	

7. 職場の要員不足による、日ごとに勤務地を変更する運用を行わないこと。
【会社回答】業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。なお、柔軟な働き方を可能とすることで、広範囲に挑戦し活躍できる風土と環境を構築していく考えである。

<p>【組合】</p> <p>○日ごとに勤務地に変更することは、組合員・社員への負担増加や安全が保たれなくなることから行うべきではない。</p>	<p>【会社】</p> <p>□<u>主な勤務地での業務が基本であり、むやみやたらに変更はしない。</u></p>
<p>《主な確認事項》</p> <ul style="list-style-type: none">・主な勤務地で業務することが基本であり、むやみやたらに勤務地を変更することはないこと。・要員不足を理由にした運用は行わないこと。	

NO. 3へ続く